

## JP006 天売島 (てうりとう)

北海道：羽幌町

位置	N 44° 25′ E 141° 19′
面積	546ha

### 環境構成【島嶼／崖地】

天売島は、羽幌町の沖 28km に位置する周囲 12km あまりの有人島である。島の西側は切り立った断崖になっており、8 種類の海鳥が繁殖する。ノガリヤス、オオイタドリ、クマイザサなどの草原、キハダやイタヤカエデなどの樹林で植生が構成されている。対馬暖流の影響で、四季を通じて比較的気候が温暖であるが、風がいつも強く吹き、とくに冬季は季節風が猛烈に吹き荒れることが多い。



写真：石郷岡卓哉

### 選定理由

<a href="#">A4i</a>	オオセグロカモメ・ウミネコ
<a href="#">A4 ii</a>	ウトウ
<a href="#">A4 iii</a>	ウトウ

### 保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（天売島）、国定公園（暑寒別天売焼尻国定公園）、自然環境保全地域

<その他>

国指定天然記念物天売島海鳥繁殖地

### 保全への脅威

- ・魚網による海鳥の混獲
- ・海水温の上昇や海流の変化によるエサ資源の減少
- ・洋上風力発電施設の計画

- ・船舶の繁殖地への接近による繁殖かく乱など
- ・ハシブトガラスやオオセグロカモメ、ノラネコ、ドブネズミによる海鳥の卵やヒナの捕食
- ・海洋のプラスチック汚染

\*ノラネコによる海鳥の捕食について、現在、羽幌町や環境省等により対策が進められている。島内のノラネコを捕獲し島外に移送し、新たな飼い主を探す事業を進めている。このため、天売島のノラネコは減少していて（現在 20 匹以下）、壊滅したウミネコ繁殖地（観音岬付近）での営巣も確認された。

また、海水温や海流の変化等によるエサ資源の減少が続いていて、海鳥の繁殖は年により大きく変化する。2011 年の調査で 415,000 巣確認されたウトウは、2014 年から 2016 年まで、3 年連続で繁殖はほぼ失敗し、巣立ちはほとんど見られなかった。2016 年の調査では 379000 巣に減少したが、今後、個体数にどのような変化が起こるのか、不明である。

### 鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化：
  - 減っている：ウミネコ（802 巣、2016 年）、オオセグロカモメ（492 巣、2016 年）
  - 増えている：ウトウ（379,195 巣、2016 年）
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査の有無：有
  - <調査データの入手方法>
    - ・ウミネコ、オオセグロカモメ：北海道大学水産学部 綿貫豊教授
    - ・ウトウ：環境省自然環境局生物多様性センター（モニタリングサイト 1000）
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
  - 変化がある：エサ資源の減少（海水温、海流の変化等による）、ノネコ・ノラネコの増加（現在は減少）

### **保全活動**

- ・環境管理：実施者（環境省）
  - 内容：ウミガラス保護増殖事業（デコイや音声装置の設置による誘引等）
- ・外来種のコントロール：実施者（羽幌町、環境省等）
  - 内容：ノラネコを島外に出し、新たな飼い主へ譲渡（羽幌町、環境省、獣医師会、愛護団体等により協議会を組織し、実施）
- ・環境教育活動：実施者（羽幌町、環境省）
  - 内容：北海道海鳥センターでの普及啓発活動（来館者への環境教育、学校教育との連携、観察会や学習会の開催）
- ・法律制定、政策、規制：

内容：天売島ネコ飼養条例の制定（2012年）により、島内の飼いネコを登録制にする。（羽幌町）

観光ルールの策定、観察マナーの現地指導など（天売の自然と親しむ会、観光業者など）

北海道海鳥センター・鳥獣保護区管理棟設置、羽幌自然保護管の配置（環境省）

- ・モニタリング調査：実施者（天売海鳥研究室、環境省、北海道海鳥センター友の会）

内容：ウミネコ、オオセグロカモメ、ウミウ、ヒメウ（天売海鳥研究室）

ウトウ（環境省自然環境局生物多様性センター モニタリングサイト1000）

ウミガラス、ケイマフリ（環境省羽幌自然保護官事務所）

ウミスズメ（北海道海鳥センター友の会）

地元の自然に関する調査・啓発（北海道海鳥センター友の会）

### IBA サイトの保全に関係する地域のグループ

- ・天売海鳥研究室
- ・北海道海鳥センター友の会
- ・天売の自然と親しむ会

### 見られる鳥

天売島ではこれまで約240種類の野鳥が確認されている。なかでもウトウは世界一の繁殖地となっており、近年はその数が減っているものの国内希少野生動植物種のウミガラスの繁殖地ともなっている。春の渡り期には重要な中継点ともなっており、多種多数の野鳥が観察され、時にはヤツガシラなどの珍鳥が訪れる事もある。

<b>留鳥</b>	ウミウ、ヒメウ、シノリガモ、トビ、ハヤブサ、キジ、オオセグロカモメ、ウミネコ、ウミガラス、アカゲラ、ハクセキレイ、シジュウカラ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
<b>夏鳥</b>	ハイロミズナギドリ、ハシボソミズナギドリ、ササゴイ、アカガシラサギ、アマサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、オシドリ、マガモ、コガモ、ヒドリガモ、ミサゴ、キョウジョシギ、ハマシギ、アカアシシギ、クサシギ、タカブシギ、キアシシギ、イソシギ、ヤマシギ、オオジシギ、セイタカシギ、ハイロヒレアシシギ、アカエリヒレアシシギ、ユリカモメ、ウミスズメ、ウトウ、キジバト、アオバト、カッコウ、ツツドリ
<b>冬鳥</b>	オオハム、シロエリオオハム、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリ、アカエリカイツブリ、フルマカモメ、オオハクチョウ、オナガガモ、クロガモ、ウミアイサ、オジロワシ、オオワシ、ケアシノスリ、ノスリ、チョウゲンボウ、セグロカ

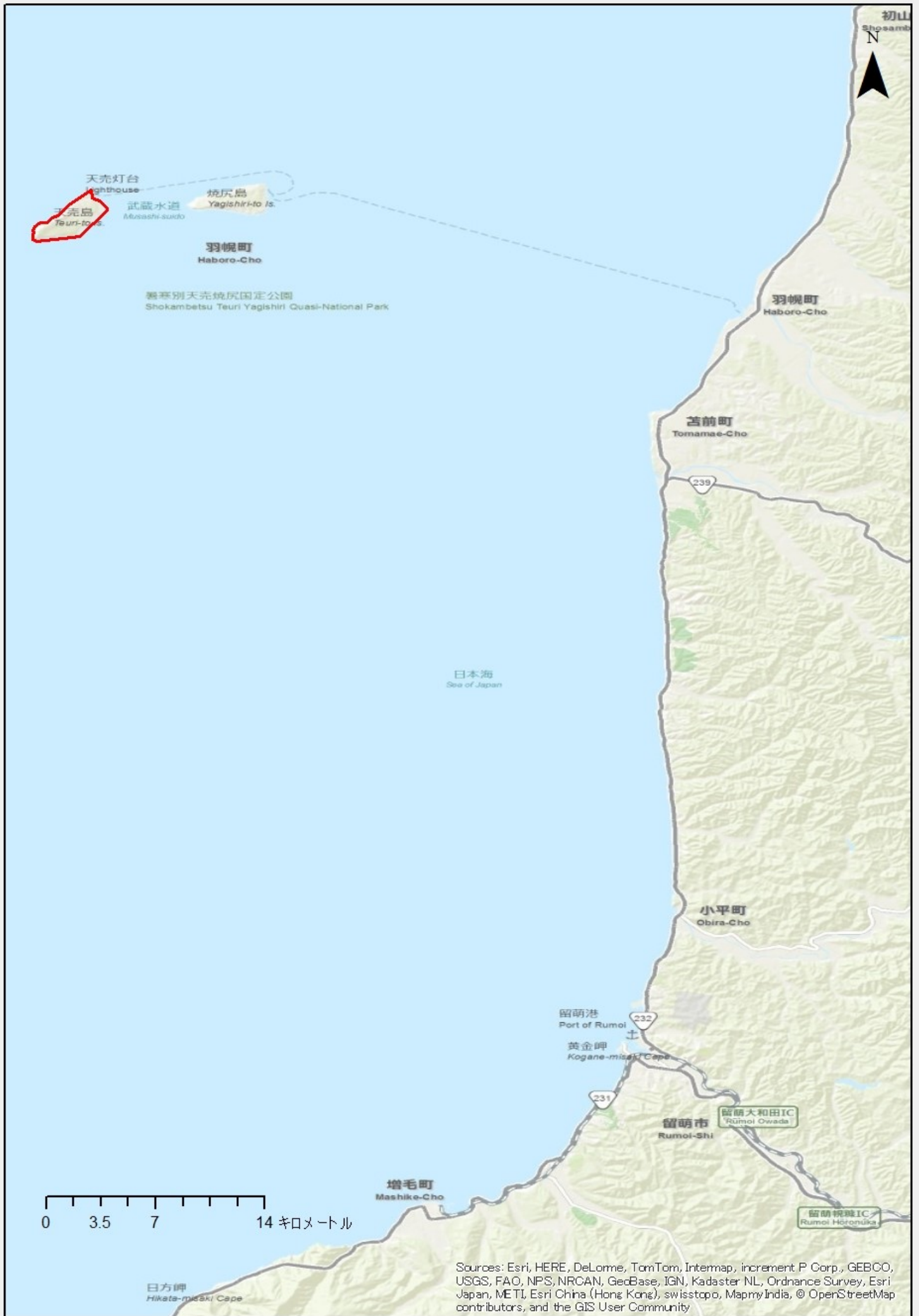
	モメ、ワシカモメ、シロカモメ、ミツユビカモメ、ハシブトウミガラス、コウミスズメ、ウミオウム、シロフクロウ、オオモズ、キレンジャク、ヒレンジャク、ツグミ、ヤマガラ、ツメナガホオジロ、ユキホオジロ、ベニヒワ
<b>旅鳥</b>	ゴイサギ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、ハイイロチュウヒ、チュウヒ、チゴハヤブサ、タゲリ、コムミズク、カワセミ、キセキレイ、ビンズイ、タヒバリ、ミソサザイ、ルリビタキ、ノビタキ、ジョウビタキ、トラツグミ、アカハラ、シロハラ、マミチャジナイ、ヤブサメ、メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、キクイタダキ、キビタキ、オオルリ、サメビタキ、エゾビタキ、コサメビタキ、エナガ、メジロ、ホオジロ、ホオアカ、ミヤマホオジロ、ノジコ、クロジ、オオジュリン、マヒワ、ベニマシコ、ウソ、イカル、ミヤマガラス
<b>迷鳥</b>	コグンカンドリ、シマアジ、サンカノゴイ、ヨシゴイ、ヘラサギ、ヤマショウビン、ハシグロヒタキ、セグロサバクヒタキ、シベリアムクドリ、ヤツガシラ、コクマルガラス、ワタリガラス

\*天売島の周辺海域は、マリン IBA (Marine Important Bird and Biodiversity Areas : 海鳥の重要生息地) に選定されている。

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>

#### 関連団体・自治体・施設等

- ・北海道海鳥センター
- ・海の宇宙館



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeCBASE, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community